

令和3年度 学校だより



令和3年11月26日(金)

御前崎市立第一小学校

学校教育目標

花いっぱい 自分 友だち 御一小

E-mail: 11月号

onichi@ed.city.omaezaki.shizuoka.jp

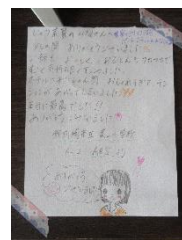
いつでも どこでも咲かせる 『自分から みんなで』の花

今年の学校行事は、天候に恵まれています。10月12日の運動会も、11月1日、2日の修学旅行も、そして、16日、17日の観音山自然教室も、日頃の子供たちの頑張りを天気の女神さまが応援してくださったように、秋晴れで穏やかな日となりました。子供たちだけでなく御家族皆様が健康管理に努め、丁寧な準備や声掛けをしてくださったおかげで、全て無事に活動をやり遂げることができました。心からお礼申し上げます。

【6年生 修学旅行エピソードより】

今年の修学旅行は、コロナウイルス感染状況を踏まえ、昨年度同様、静岡山梨方面への旅となりました。「行けることだけでもうれしい」と話していた6年生は、どこに行っても集合時刻を守って行動することができました。マスク着用や手指消毒、黙食や三密回避など、学校生活で身に付けた感染防止対策をしっかりと実行し、声を掛け合う姿に感心しました。

日本平ホテルや宿泊先等、どの施設でも感染防止策を徹底し、子供たちの安全を守っている従業員のみなさんの姿に、お礼の言葉や会釈で感謝を表すことができる子供もいました。2日目の朝、教員がそれぞれの部屋を回って体調確認をしていた時のことです。ある女子児童の部屋に入ると、入り口のタオル入れに丁寧に書かれた感謝のメッセージが置かれていました。また、ほとんどの部屋は、使ったりネン等丁寧にたたまれていて、部屋がきちんと片付けられていました。家庭での生活そのものが、こうして表れるのだろうと感動しました。大切な『花』を修学旅行でも咲かせてくれた6年生でした。ありがとう。



【5年生 観音山自然教室エピソードより】

子供たちの規範意識が育ってきていて、声を掛け合っている姿が多く見られました。靴箱だけでなく、トイレのスリッパや部屋とお風呂の前で上靴をそろえて脱いでいました。「学校でのかかとピン」は「どこでもかかとピン」として観音山でも『花』を咲かせました。また、部屋の布団の向きをそろえてしまうことは、大人でも苦勞するのですが、一度入れた布団が整わなかったので、「みんなでやり直そう」と室長が声をかけ、自分たちで入れ直している部屋もありました。班長や室長を中心に、みんなで声を掛け合って、励まし合っている場面が多く、5年生の『自分からみんなでの花』のすばらしさを感じ、幸せな気持ちになりました。5年生のみんな、ありがとう。

大きな学年行事を成功させた子供たちが、次に目指すのは『第一小50周年事業』です。ただ今実行委員会を中心に企画中です。全校でつくる充実した記念行事になるよう、応援してください。そして、一緒にお祝いしましょう。よろしく願いいたします。(校長 増田久美子)

